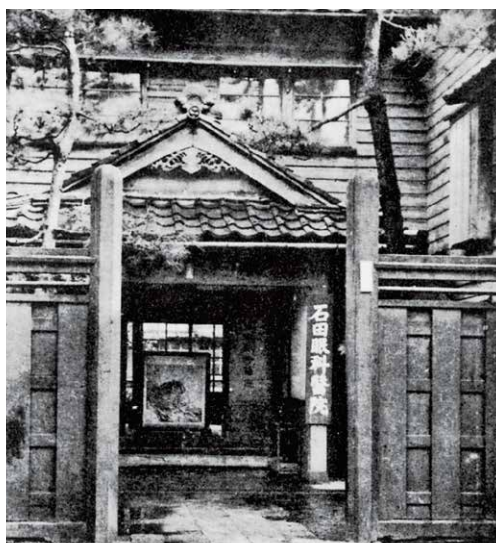


石田眼科開院110年にあたって



現在の石田眼科



開設当時の診療所



長野クリニック



新橋眼科

初代喜二郎が東京大学を卒業し、1915年(大正4年)4月19日に当地旧高田市本町二丁目に開業して110年を迎えました。その後、父修が太平洋戦争時、海軍軍医として空母瑞鳳に乗船中攻撃を受けて沈没し、洋上を6時間漂流し奇跡的に救助され生還しました。終戦後は新潟大学眼科医局に入局し、祖父と共に石田眼科の基礎を築いてくれました。私は国際眼科学会会長を務めた順天堂大学眼科教授故中島章先生の弟子となり、聖路加国際病院眼科故神吉和夫部長の元で臨床経験を重ね父の怪我を機に帰郷し、父と共に外来を始めました。旧院の新改築、糸魚川に分院、本院の新築移転、新橋眼科の関連施設の設立など怒うの歴史でした。息子学は世界百人の名眼科医に選ばれた京都府立医大木下茂前教授のもと最高の眼科教育を受け、藤枝市立病院眼科部長時代に研鑽を積み2022年春に帰郷し、現在私と共に診療を行い長野に分院を設立いたしました。



行事報告 [2025年1月～3月]

1月 1/11 新年会

今年は長野クリニックのスタッフも加わり、本院、糸魚川、長野 総勢84名で合同新年会を行いました。

1月 手術学会

1月31日～2月2日横浜で開催された第48回日本眼科手術学会学術総会に副院長が参加しました。

1月 スタッフ勉強会

・抗ヒスタミン剤「デザレックス内服」
・REF TOPO RET-700(P3の最新器械)

2月 スタッフ勉強会

・多焦点レンズ:ジェメトリック(HOYA)
・多焦点レンズ:ファインビジョン(BVI)

2月 2/15 DSS(Deep-dive Surgical Seminar)

毎年恒例のDSS。今年は約90名の眼科医の集まりとなりました。



3月 3/14 講演会

「ROCK Conference in 長岡」で副院長が講演しました。

3月 スタッフ勉強会

・緑内障手術「ハイドラス」



3月 論文掲載

臨床眼科2025年3月号に院長の論文が掲載されました。



国産初の超音波水晶体乳化吸引手術器械で施行され49年経過した症例の検討

石田 誠夫¹⁾ 石田 学²⁾ 大原 晴³⁾ 松本 佐代子⁴⁾ 平塚 義宗⁴⁾ 山口 達夫^{1,3,4)}

【目的】 故・桑原安治らが研究・開発した日本初の超音波水晶体乳化吸引術 (PEA) 器械で白内障手術を施行し、術後49年経過した症例を検討したので報告する。
対象と方法：1975年、19歳女性が桑原らによって開発された日本製のPEA器械で白内障手術を施行された。この症例に対し、当院で術後22年からその後25年間(1997～2022年)にわたり角膜内皮細胞、角膜厚、角膜知覚、角膜形状解析に関して検討を加えた。
結果：角膜とも角膜中央部の内皮細胞には著明な変動はなかったが、周辺部は、超音波チップ (US tip) 挿入部と思われる部位 (右眼9時方向、左眼3時方向) の角膜内皮細胞密度が他の部位と比較して有意に低下していた。角膜厚、角膜知覚は正常範囲内であり、角膜形状解析でも変動はなかった。
結論：国産初のPEA器械を用いた白内障手術後、49年経過しても角膜は透明であり、内皮細胞も含め安定した状態を保っていた。

1) 医療法人社団善寿会 石田眼科 2) 順天堂大学医学部眼科学講座 3) 新橋眼科 4) 聖路加国際病院眼科

専門外来のご案内 [6月～8月]

日程は変更になる場合があります。
なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。

網膜硝子体専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 6/20、7/18
京都府立医科大学附属病院 眼科客員教授 寺尾 信宏先生 6/13、7/4、8/1
米田医師他 6/7、6/28、7/5、7/19、8/9

緑内障専門外来

日本赤十字社医療センター 前眼科部長 濱中 輝彦先生 6/4
東京大学医学部附属病院 前眼科教授 相原 一先生 7/12

小児眼科専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 6/20、7/18、8/30

角膜屈折矯正専門外来

聖路加国際病院 顧問 山口 達夫先生 6/3、6/7、6/21、6/24、7/1、7/8、7/19、7/23、7/29、8/5、8/12、8/23、8/26
国立長寿医療研究センター病院 眼科部長 稲富 勉先生 7/25
京都府立医科大学附属病院 眼科客員教授 横井 則彦先生 6/10、7/22、8/26

眼形成・涙嚢専門外来

京都府立医科大学附属病院 眼科助教 渡辺 彰英先生 6/7、8/2
富山大学附属病院 眼科准教授 柚木 達也先生 7/12

斜視・弱視・視神経専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 6/20、7/18、8/30

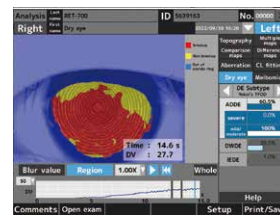
最新眼科医療器機紹介

機能性と操作性を追求した、オートレフトポグラファー REF TOPO RET-700



一度の操作でオートレフ(近視や遠視、乱視の測定)、ケラト(角膜の丸みの測定)、トポグラファー(角膜の形状)を同時に測定でき、さらにドライアイ分析、マイボーム腺観察機能が装備されています。AIが自動的に診断する画期的な器機で、現在は日本に2台しかありません。

スマホやパソコンの使用でドライアイの患者さんが増えています。それに対応できるように最先端の検査器機を導入しました。ドライアイで日本のトップの横井則彦先生から月に一度来ていただき、ご指導いただいております。



最先端の治療で多くの患者さんがコンタクトレンズや眼鏡から解放されています

イントラレーシック

イントラレーシックとはフェムトセカンドレーザー、エキシマレーザーを使用します。OPDの正確なデーターをレーザーに入力するので、より正確に視力を矯正出来る方法です。

・16名32眼 平均年齢30.8歳

治療前(平均)		治療後(平均)	
視力	近視度数	視力	近視度数
0.1	-3.50D	1.5	±0.00
〈令和6年8月～令和7年2月〉			

※今回のデータの中には-15.00Dの強度近視でも裸眼視力で1.5まで見えるようになった方や乱視度数-3.00Dが0になった方もいらっしゃいます。

イントラレーシックは県内では当院のみ、ICL手術は県内では当院を含め3施設のみ治療を行っております。

説明用ビデオを院内で放映中。貸し出しもしています。是非ご覧下さい。

興味のある方は 無料説明会開催中

ICL手術 [有水晶体眼内レンズ]

当院ではICL(有水晶体眼内レンズ)手術も始めました。イントラレーシックでは適応外の強度近視の方にも適していますので、興味のある方はお気軽にお尋ねください。

・28名56眼 平均年齢31.5歳

治療前(平均)		治療後(平均)	
視力	近視度数	視力	近視度数
0.08	-7.00D	1.5	±0.00
〈令和6年8月～令和7年2月〉			

2024年手術件数報告 (2024年1月～12月)

● 白内障手術	1669件	● 外眼部手術	29件
● 緑内障手術	120件	● 眼瞼下垂手術	153件
● 角膜移植	18件	● 斜視	6件
● 網膜硝子体手術	272件	● 涙嚢鼻腔吻合術	4件
● 翼状片	35件	● 硝子体注入	810件

● その他	112件
● 屈折矯正治療	143件
イントラレーシック、	
PRK、PTK、タッチアップ	57件
ICL(有水晶体眼内レンズ)	78件
クロスリンキング	8件
(計3371件)	

Aさん Kさん

Fさんご夫妻 ※100歳ではありませんがご主人98歳、奥様96歳のご夫婦です。

絆 100歳を超えて通院してきてくれる患者さんとともに



1989年旧院増改築前、改築後



1967年本院新改築・集合写真

親の欲目はありますが、臨床レベルはほぼ一流で申し分ない状態です。姉である次女大原瞳は学より先に眼科専門医を取得し手術は器用で問題なくこなしており、2人に手



旧石田眼科病院

術を含め安心して任せられる医療態勢となりつつあります。恩師故中島章先生から「地方においても一流の仕事はできる」の教えに基づき、「中央に匹敵する眼科医療」を目指し大学以上の医療機器を設備し、眼科領域の日本でトップクラスの先生を招聘し最先端の医療を提供することを目標としております。息子 学は私以上に全国トップクラスの先生方と知己を広めております。今年も毎年開催している若手を中心として最先端の技術を勉強するDSS(Deep-dive



糸魚川クリニック

Surgical Seminar)の会では北海道から沖縄まで全国から約90人の眼科医が集まる会を百年料亭

「宇喜世」で開催し大盛況でした。今の石田眼科があるのは神仏のご加護であるのは当然ですが色々な方々との出会いや縁があつてからこそであります。ただし眼科の奥深さを教えていただいているのは患者さんのお陰です。また、今のトップレベルの医療を維持できているのは「企業は人なり」という如くスタッフにも深く感謝しております。今後も患者さんと共にある最先端医療を目指して120年を迎えられるように頑張りたいと思いますのでよろしくご支援・ご厚誼の程、お願い致します。

石田眼科院長 石田 誠夫



瞳先生、誠夫先生、学先生



二代目 修



初代 喜二郎